

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	区分	科目名	単位数	実務家教員	授業への実務経験反映内容
1	工学基礎科目	データサイエンス概論	2	①松本浩樹 ②千川達也 ③荒井武彦	①DSPに機械学習アルゴリズムを搭載させた経験を活かし、データサイエンスの実問題への適用について指導を行っている。②機械学習アルゴリズムを組み込みシステムに搭載する業務経験を活かし、実問題への適用について指導している。③AI搭載ボードの開発経験を活かし、実問題への適用について指導を行っている。
2	工学基礎科目	ものづくり概論	2	石川恒夫 尾形智夫	官公庁との連携や企業勤務での実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かして授業を実施している。
3	工学基礎科目	環境エネルギー概論	2	①藤澤星 ②首藤文洋	①企業での技術開発業務で得た知見を活かし、エネルギーシステム概略や気候変動対策の位置付け・課題などについて、工学的視点だけでなく社会経済的視点に基づいて講義を実施する。②「動物と環境」のテーマで人間社会と動物の関係を獣医師の知見から問題提起した講義を行う。
4	工学基礎科目	技術者倫理	2	勅使川原 敏之、櫻田 賢	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点で捉え、民間での知財マネジメントやコンサルティング経験を交えた講義を行い、公共を意識した技術者になれるよう指導している。
5	工学基礎科目	地域文化論	2	手島仁	官民連携により群馬学、地域学の研究を市民学芸員の養成など地域協働に繋げた知見を活かした授業を展開する。
工学基礎科目 集計			10		
1	建築・都市・環境工学群	キュレーション・インストール概論	2	阿部由布子	キュレーター／インストーラーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
2	建築・都市・環境工学群	グラフィックデザイン	2	阿部由布子	グラフィックデザイナーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
3	建築・都市・環境工学群	バウビオロギーII	2	石川恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
4	建築・都市・環境工学群	環境デザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の地域や場所を対象とし、都市環境デザインコンペ要項や、自他の実務例等を参照した現実的な課題に対する講評や指導を行っている。
5	建築・都市・環境工学群	計画数理	2	森田哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。
6	建築・都市・環境工学群	建設マネジメント	2	佐野 功	建設技術者として知っておくべきプロジェクトの構造やマネジメントを、建設現場の現場監督から事業の計画まで経験した実務を背景にして講義する。また、建設事業にかかわる企業より実務に精通した講師を招き、各専門分野の講義を行う。
7	建築・都市・環境工学群	建築CAD	2	橋本薫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
8	建築・都市・環境工学群	建築マネジメント	2	水出有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算、総合管理計画や個別施設計画の策定及び改定など各種ファシリテイマネジメント業務に携わっており、その実務経験に基づき講義している。
9	建築・都市・環境工学群	建築環境特論	2	石川恒夫、白江龍三	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
10	建築・都市・環境工学群	建築計画I	2	幸島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
11	建築・都市・環境工学群	建築計画II	2	幸島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
12	建築・都市・環境工学群	建築構造実験	2	佐藤 良介	ゼネコン勤務での経験を活かし、より高い技術を使用している施工現場の情報収集や選定を行い、学生に高度な技術を学ばせている。
13	建築・都市・環境工学群	建築構造特論	2	松本 匡史	担当教員は、建築物の構造設計に携わり、それらを通して得た経験を活かし、構造設計には技術とデザインが高度に絡むということ、その重要性を実際の建築物の紹介で伝え、プレゼンテーションを通して内容への理解と想像力を養う講義を行っている。
14	建築・都市・環境工学群	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
15	建築・都市・環境工学群	建築設計II	2	①若松均 ②駒田剛司	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
16	建築・都市・環境工学群	建築法規	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18年(給付事件)の改正事務、及び県被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の担当を務めた経験を生かし講義を行っている。
17	建築・都市・環境工学群	交通計画	2	森田哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
18	建築・都市・環境工学群	公害防止と電気保守	2	山中 憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、公害防止や電気についての指導を行っている。
19	建築・都市・環境工学群	工学デザイン実習I a	2	①駒田剛司 ②橋本薫	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
20	建築・都市・環境工学群	構造物設計論	2	菅野貴浩	鉄道構造物を維持・管理する立場で、高架橋・基礎・盛土に関し、設計上ならびに施工上考慮すべき要点について講義している。
21	建築・都市・環境工学群	構造力学基礎	2	山中憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
22	建築・都市・環境工学群	鋼構造学	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼構を通じて工学と社会インフラとのつながりを説明している。
23	建築・都市・環境工学群	集合住宅デザイン論	2	駒田剛司	集合住宅の設計実務を通じて得た経験・見地から指導を行う。
24	建築・都市・環境工学群	図学デザイン	2	石川恒夫 山梨綾菜 楠木幹也	設計実務の経験を活かし、建築物等の実務図面にもとづく製図法を指導している。
25	建築・都市・環境工学群	測量実習I	2	角田健治	30年以上の測量会社勤務の経験を活かし、測量実習を指導している。
26	建築・都市・環境工学群	測量実習II	2	角田健治、宮川 睦巳	測量実習を指導している。線形計算など実務を踏まえた指導をしている。
27	建築・都市・環境工学群	地域・都市計画	2	森田哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
28	建築・都市・環境工学群	都市環境計画I	2	幸島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
29	建築・都市・環境工学群	都市環境計画II	2	幸島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
30	建築・都市・環境工学群	土木構造力学I	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼構を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
31	建築・都市・環境工学群	土木構造力学II	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼構を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
32	建築・都市・環境工学群	防災まちづくり	2	幸島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
建築・都市・環境工学群 集計			64		

1	情報・生命工学群	コンピュータグラフィクス	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、生体分子構造のCGや表現方法を題材に、その他の生命系科目にも生かせる内容にしている。
2	情報・生命工学群	データベース	2	蒔田由布子	理化学研究所におけるデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行なっている。
3	情報・生命工学群	データマイニング	2	蒔田由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を生かし、データマイニングの授業を行なっている。
4	情報・生命工学群	バイオ統計	2	大藤道衛	製薬企業での研究開発業務、バイオ企業での技術コンサルタントの経験を活かし、分子医学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌叢解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法など生命科学研究に必要な統計の基本についての講義を実施する。
5	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習	4	千川 達也、三河賢治 浜元信州 小川康一	企業での実践的なソフトウェア開発、実務でのプログラミング経験を基に、プログラミング言語の演習を行う。
6	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習II	4	関口達也	実務でのプログラミング経験をもとに、有用なプログラムを読んで咀嚼することの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ること意識させた授業を行っている。
7	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習III	4	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法（データ構造や並列化・高速化）を応用する。
8	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習IV	4	沢野 敬	企業でのプログラミング経験をもとに、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている。
9	情報・生命工学群	遺伝子工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での遺伝子工学での技術開発経験を活かし、遺伝子工学に関する基礎的な授業を実施している。PCR実験の原理について、遺伝子組み換え実験のための制限酵素等の使用について、大腸菌への組み換えDNAの導入方法等についての教育をおこなっている。
10	情報・生命工学群	遺伝情報学	2	福地佐斗志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている。
11	情報・生命工学群	医学概論	2	首藤文洋	医学科での教員経験と獣医師としての臨床診療の実務経験を講義に反映。
12	情報・生命工学群	医用機器工学	2	首藤 文洋	医学科教員(2001-2020)経験と獣医臨床経験を講義に反映。
13	情報・生命工学群	機器分析	2	門屋利彦	医薬品の研究開発経験を活かし、食品や医薬分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において利用される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで使用される機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を実施する。
14	情報・生命工学群	公衆衛生学・関係法規	2	船田一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生監視員、麻薬取締員などの現場での職務経験・知識を活かし、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
15	情報・生命工学群	情報・生命基礎実習	2	①本多一郎 ②松本浩樹 ③荒井武彦 ④首藤文洋 ⑤本間知夫 ⑥尾形智夫 ⑦山下聡 ⑧林秀謙 ⑨星次子 ⑩薩秀夫 ⑪中山明	本実習は、情報・生命工学分野における研究や生産、品質管理などで使用される基本的な操作、原理、実験結果の解析方法を学習することを目的とする実践的科目である。実施される各実験では担当する各教員の実務経験を活かし指導している。①国立研究機関（農水省関係）での農園芸学に従事した経験を活かし顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。②信号処理回路およびプログラムを含むシステム開発した経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。③実務でのプログラミング経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。④融合学問領域の研究者としての活動経験や臨床獣医師としての経験を活かし、生理学実験を実施する。⑤国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、分析機器を用いた定量操作について実習を実施する。⑥企業における研究その他の実務経験を活かし、実験や研究における留意点や結果のまとめ方などについて教授する。⑦民間企業、国立研究機関での経験を活かし、分析機器の基本操作とその利用についての実習を担当する。⑧研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、顕微鏡を用いた微生物の観察実習を実施する。⑨民間企業、国立研究機関での経験を活かし、化学実験の基本操作とその重要性および留意点について教授する。⑩国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、重量、容量測定の基本操作とその重要性について教授する。⑪県立および国立の研究機関での植物、農園芸関係の実務経験を活かし、顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。
16	情報・生命工学群	情報・通信論	2	松本浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
17	情報・生命工学群	食品製造学	2	本間知夫	研究機関におけるチャをはじめとする農産・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、チャなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
18	情報・生命工学群	信号処理	2	松本浩樹	音声・通信の信号処理回路およびプログラムを含むシステムの技術開発経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDSPへのコーディング手法の教育を行っている。
19	情報・生命工学群	生物化学工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物において反応として起こる増殖、反応、消費、損失などの現象について教授する。
20	情報・生命工学群	生物工学実験II	4	①尾形智夫 ②林 秀謙 ③本間知夫 ④山下 聡	本授業は食品科学、食品衛生学、生理学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通じて習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かし、①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、微生物の顕微鏡観察、微生物の利用等）に関する実験を実施している。②研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生理生化学的性質の解析などの指導をしている。③国立研究機関（農水省関係）での技術開発経験を活かし、食品科学、動物を用いた生理学実験を実施する。④民間企業、国立研究機関での経験を活かし、タンパク質の精製・分析、酵素活性測定、タンパク質量や活性の定量的取り扱いに関する基礎的な実験を実施する。
21	情報・生命工学群	生物工学実験III	4	①本多一郎 ②中山 明	本授業は有機化学、天然物化学的な物質取扱い、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、①研究機関等における有機合成、天然物有機化学、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を授業の内容、指導に活かしている。②研究機関における植物（バイオアッセイを含む）の技術開発経験を授業の内容や指導に活かしている。

22	情報・生命工学群	生物工学実験Ⅳ	4	①尾形智夫 ②本間知夫 ③林 秀謙 ④山下 聡	本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また医薬品及び食品の工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。 ①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験を正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、核酸抽出等に関する実験を実施している。②研究機関におけるチャームをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生学的取組みについて解説している。③研究機関における微生物分野の技術開発および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、細菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。④民間企業、国立研究機関での経験を活かし、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLCや原子吸光分析法などを指導している。
23	情報・生命工学群	生物物理の基礎	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
24	情報・生命工学群	生理学実習	3	首藤文洋	獣医師資格保持者であり人体解剖の知見・要点をモデル動物の解剖に適宜反映している。
25	情報・生命工学群	電気・電子回路実習	3	小堀康功	回路開発の実務経験を活かし、電気回路と電子回路の組み立て、オシロスコープ等の電子機器の取り扱いおよびそれらの機器を用いて回路の特性を計測する演習を行っている。
26	情報・生命工学群	微生物生理学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物生理学に関する授業（微生物の生育、微生物の代謝等）を実施して、微生物の多様性、微生物代謝の多様性、これらの多様性の産業への応用等に関する授業を実施している。
27	情報・生命工学群	微生物利用学	2	林 秀謙	研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分譲業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
28	情報・生命工学群	並列分散処理	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
29	情報・生命工学群	免疫学	2	門屋 利彦	製薬企業における医薬品の研究開発経験を活かし、免疫と疾患との関連、抗体製法方法、抗体やサイトカイン、増殖因子の研究材料や医薬品としての利用について例を挙げて授業を実施する。
情報・生命工学群 集計			74		
1	社会環境工学科	計画数理	2	森田哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。
2	社会環境工学科	建設マネジメント	2	佐野 功	建設技術者として知っておくべきプロジェクトの構造やマネジメントを、建設現場の現場監督から事業の計画まで経験した実務を背景にして講義する。また、建設事業にかかわる企業より実務に精通した講師を招き、各専門分野の講義を行う。
3	社会環境工学科	交通計画	2	森田哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
4	社会環境工学科	構造物設計論	2	菅野真浩	鉄道構造物を維持・管理する立場で、高架橋・基礎・盛土に関し、設計上ならびに施工上考慮すべき点について講義している。
5	社会環境工学科	構造力学Ⅲ	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を題材として、力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
6	社会環境工学科	鋼構造学	2	宮川睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を通じて工学と社会インフラとのつながりを説明している。
7	社会環境工学科	測量実習Ⅱ	2	角田健治、宮川 睦巳	測量実習を指導している。線形計算など実務を踏まえた指導をしている。
8	社会環境工学科	地域・都市計画	2	森田哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
社会環境工学科 集計			16		
1	建築学科	パワビオロギーⅡ	2	石川恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
2	建築学科	環境デザイン特論	2	石川恒夫、白江龍三	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
3	建築学科	建築マネジメント	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務で関わった複数自治体の事例、および公共施設の再整備計画を、ワークショップ形式の授業をおとして、実践的に教授している。
4	建築学科	建築計画Ⅰ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
5	建築学科	建築計画Ⅱ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
6	建築学科	建築計画特論	2	石田敏明	設計実務の経験を活かし観察力、分析力、構想力、設計力とプレゼンテーション能力を身につけさせる課題設定と建築知識と表現指導を行っている。
7	建築学科	建築構造実験	2	佐藤 良介	ゼネコン勤務での経験を活かし、より高い技術を使用している施工現場の情報収集や選定を行い、学生に高度な技術を学ばせている。
8	建築学科	建築構造特論	2	松本 匡史	担当教員は、建築物の構造設計に携わり、それらを通じて得た経験を活かし、構造設計には技術とデザインが高度に絡むということ、その重要性を実際の建築物の紹介で伝え、プレゼンテーションを通して内容への理解と想像力を養う講義を行っている。
9	建築学科	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
10	建築学科	建築生産	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務の経験を活かし、建築だけでなく維持管理や会計など建築実務に即した講義を行っている。
11	建築学科	建築積算	2	水出有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算、総合管理計画や個別施設設計の策定及び改定など各種ファシリティマネジメント業務に携わっており、その実務経験に基づき講義している。
12	建築学科	建築設計Ⅱ	2	①若松 均 ②石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
13	建築学科	建築設計Ⅲ	2	①若松 均 ②石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
14	建築学科	建築設計Ⅳ	2	①石川恒夫 ②石黒由紀 ③山梨綾華	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識に基づき、課題設定と技術指導に活かしている。
15	建築学科	建築設計基礎Ⅰ	2	①石川恒夫	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
16	建築学科	建築設計基礎Ⅱ	2	①石川恒夫	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
17	建築学科	建築法規	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18(姉由事件)の改正事務、及び奥被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の担当者を務めた経験を生かし講義を行っている。
18	建築学科	鋼構造設計	2	荒井 豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造図作成と応力解析及び構造設計を通じて、構造設計方法の講義と課題演習を行っている。

19	建築学科	都市環境計画Ⅰ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
20	建築学科	都市環境計画Ⅱ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
建築学科 集計			40		
1	生命情報学科	コンピュータグラフィクス	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事した経験を活かし、生体分子構造のCGや表現方法などの講義を行っている。
2	生命情報学科	データベース	2	蒔田由布子	理化学研究所におけるデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行なっている。
3	生命情報学科	データマイニング	2	蒔田由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を生かし、データマイニングの授業を行なっている。
4	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅱ	4	関口達也	実務でのプログラミング経験をもとに、有用なプログラムを読んで咀嚼することの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ること意識させた授業を行っている。
5	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅲ	4	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法（データ構造や並列化・高速化）を応用する。
6	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅳ	4	洲野 敬	企業でのプログラミング経験をもとに、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている。
7	生命情報学科	遺伝情報学	2	福地佐斗志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている。
8	生命情報学科	生物物理の基礎	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
9	生命情報学科	生命情報学概論	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
10	生命情報学科	並列分散処理	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
生命情報学科 集計			26		
1	システム生体工学科	医学概論	2	首藤文洋	医学科での教員経験と獣医師としての臨床診療の実務経験を講義に反映。
2	システム生体工学科	医用機器工学	2	首藤文洋	医学科教員(2001-2020)経験と獣医臨床経験を講義に反映。
3	システム生体工学科	情報・通信論	2	松本浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
4	システム生体工学科	信号処理	2	松本浩樹	音声・通信の信号処理回路およびプログラムを含むシステムの技術開発経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDSPへのコーディング手法の教育を行っている。
システム生体工学科 集計			8		
1	生物工学科	バイオ統計	2	大藤道衛	製薬企業での研究開発業務、バイオ企業での技術コンサルタントの経験を活かし、分子医学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌叢解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法など生命科学に必要な統計の基本についての講義を実施する。
2	生物工学科	遺伝子工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での遺伝子工学での技術開発経験を活かし、遺伝子工学に関する基礎的な授業を実施している。PCR実験の原理について、遺伝子組み換え実験のための制限酵素等の使用について、大腸菌への組み換えDNAの導入方法等についての教育をおこなっている。
3	生物工学科	機器分析	2	門屋利彦	医薬品の研究開発経験を活かして、食品や医薬分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において利用される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで使用される機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を実施する。
4	生物工学科	教職実践演習(高)	2	小林 清	教員としてのキャリア、学校運営経験により教職課程の総括である科目を担当している。
5	生物工学科	公衆衛生学・関係法規	2	船田一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生監視員、麻薬取締官などの現場での職務経験・知識を活かし、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
6	生物工学科	食品製造学	2	本間知夫	研究機関におけるチャをはじめとする農産・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、チャなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
7	生物工学科	生物工学実験Ⅱ	4	①尾形智夫 ②林 秀謙 ③本間知夫 ④山下 聡	本授業は食品科学、食品衛生学、生理学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通して習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、微生物の顕微鏡観察、微生物の利用等)に関する実験を実施している。②研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生体化学的性質の解析などの指導をしている。③国立研究機関(農水省関係)での技術開発経験を活かし、食品科学、動物を用いた生理学実験を実施する。④民間企業、国立研究機関での経験を活かして、タンパク質の精製・分析、酵素活性測定、タンパク質量や活性の定量的取り扱いに関する基礎実験を実施する。

8	生物工学科	生物学実験Ⅲ	2	①本多一郎 ②中山 明	本授業は有機化学、天然物化学的な物質取扱い、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、①研究機関等における有機合成、天然物有機化学、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を実験の内容、指導に活かしている。②研究機関における植物（バイオアッセイを含む）の技術開発経験を実験の内容や指導に活かしている。
9	生物工学科	生物学実験Ⅳ	2	①尾形智夫 ②本間知夫 ③林 秀謙 ④山下 聡	【実務家教員科目】本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また医薬品及び食品の工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。①企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物実験を正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、核酸抽出に関する実験を実施している。②研究機関におけるチャージをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生学的取組みについて解説している。③研究機関における微生物分野の技術開発および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、麹菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。④民間企業、国立研究機関での経験を活かし、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLCや原子吸光分析法などを指導している。
10	生物工学科	微生物生理学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の技術開発経験を活かし、微生物生理学に関する授業（微生物の生育、微生物の代謝等）を実施して、微生物の多様性、微生物代謝の多様性、これらの多様性の産業への応用に関する授業を実施している。
11	生物工学科	微生物利用学	2	林 秀謙	研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分譲業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
12	生物工学科	免疫学	2	門屋 利彦	製薬企業における医薬品の研究開発経験を活かし、免疫システムと疾患との関連、抗体作製方法、抗体やサイトカイン、増殖因子の研究材料や医薬品としての利用について例を挙げて授業を実施する。
生物工学科 集計			26		
1	総合デザイン工学科	アーバンスケープデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の地域や場所を対象とし、都市環境デザインコンペ要項や、自他の実務例等を参照した現実的な課題に対する講評や指導を行っている。
2	総合デザイン工学科	インテリアデザイン応用	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じた空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
3	総合デザイン工学科	グラフィックデザイン	2	阿部由布子	グラフィックデザイナーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
4	総合デザイン工学科	クリエイティブコーディング	2	田所淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
5	総合デザイン工学科	コミュニティデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現代的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
6	総合デザイン工学科	コンテクスチュアルデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じた空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
7	総合デザイン工学科	デザインCAD	2	橋本薫	設計実務の経験を活かし課題設定と技術指導を行っている。
8	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅰ	2	①駒田剛司 ②江本開夫 ③田所 淳	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
9	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅱ	2	①駒田剛司 ②杉浦 榮	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
10	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅲ	2	①江本開夫 ②杉浦 榮	実務経験を活かし、実際の地域や敷地（前橋まちなかエリア等）を対象とし、包括的な調査・分析から、現実的な課題を解消し、地域の潜在資源を活かすような空間・プロダクト・情報デザイン提案への技術指導を行っている。
11	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣA	2	駒田剛司	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
12	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣB	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
13	総合デザイン工学科	デザイン基礎演習Ⅱ	2	江本開夫	設計・デザイン実務の経験を活かし、基本要素の組合せから産まれる多様な空間性のスタディを行う課題設定と、製図や模型を伴うプレゼンテーション表現の技術指導を行っている。各回の講義の内容は、課題に対して各教員が実務で培ってきた知見と実践が活用されている。
14	総合デザイン工学科	デジタル造形基礎	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
15	総合デザイン工学科	プログラミングⅡ	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している。
16	総合デザイン工学科	プロダクトデザインⅡ	2	江本開夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
17	総合デザイン工学科	応用測量学	2	鈴木健一	実務を通して測量の著しい変化を強く感じている。このため、従来からの測量に加え、今後必須になるであろう新しい測量が身に付く授業を進めている。
18	総合デザイン工学科	環境デザインⅠ	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現代的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
19	総合デザイン工学科	環境デザインⅡ	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の地域や場所を対象とし、都市環境デザインコンペ要項や、自他の実務例等を参照した現実的な課題に対する講評や指導を行っている。
20	総合デザイン工学科	建築マネジメント	2	小川貴之	建築設計・監理を含む建築マネジメント全体を通して、建築における生産性、維持管理の効率性、建築関係法等について、実務者（一級建築士）として実務に携わった経験を活かしている。
21	総合デザイン工学科	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
22	総合デザイン工学科	建築法規	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18年(姉妹事件)の改正事務、及び鳥越氏の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の主担当を務めた経験を生かし講義を行っている。
23	総合デザイン工学科	材料工学	2	山中 憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
24	総合デザイン工学科	材料実験	2	山中 憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
総合デザイン工学科 集計			48		
総計			312		